

## 挨拶

# 謝 辞

被表彰者代表

井 上 二 三 夫



ただいま表彰いただきましたシスメックスの井上でございます。表彰者一同を代表いたしまして、皆様にお礼のご挨拶をさせていただきますと思います。

思い起こせば、この日本知的財産協会と私とのかかわりは非常に長く、約30年前、私がまだ知財活動を始めたばかりのころ、研修委員会、今の人材育成委員会の前身ですが、そこに参加させていただいたのが始まりでした。

まだ駆け出しで右も左もわからないような状況でしたが、先輩の委員の方々に、非常に親切に、且つ、丁寧にご指導いただき、会社でのOJT以上にお世話になったという記憶がございます。

ご指導いただいた先輩方は非常に輝いて見え、“自分もいつかあのような知財マンになりたい”と思ったのを昨日のことのよう思い出されます。

その後、しばらく知財協の活動はお留守にさせていただいていましたが、約20年後に知財マネジメント委員会に参加させていただき、そこから本格的に知財協活動を再開させていただきました。

皆さんのご案内のとおりかと思えますけれども、知財マネジメント委員会には、お約束の宿泊研修というのが非常に数多くございました。日本を代表する企業の第一線で活躍されていらっしゃる皆さんと一緒に研究させていただき、また、お酒も入りながら夜を徹しての議論もありました。この活動を通じてさまざまなことを勉強させていただき、どこまで成長できたかは別にして、成長の糧にさせていただきました。

また、一緒に研究させていただいた仲間は、私にとって大切な一生の宝物になっております。その方々とのおつき合いは、今も続いております。

2012年から知財協の常務理事、副理事長を6年間務めさせていただきました。その間、知財情報システムや知財情報検索などの情報にかかわる委員会を中心に担当させていただきました。

私自身、知財情報関連業務に直接的に携わったことがなく、また、情報に携わる人の使っている言葉がなかなか難しく、委員の皆さんにご迷惑がかかるのではないかという不安はありましたが、委員の皆様方が私をよくご理解いただき、一緒に研究活動をさせていただきました。

知財情報は極めて重要なもので、これなしでは知財戦略を立てることも、また、それを実践することもできないのですが、知財情報にかかわる活動自体は、比較的、地味な活動であり、目立たないものです。

知財活動がグローバル化していく中で、皆さんご自身もさまざまなところに出かけてグローバルな知財活動をされていると思います。しかしながら、情報検索、情報システムに携わる方々が、中心的

## 本文の複製、転載、改変、再配布を禁止します。

な役割を持ちながら海外に出て行くとか、また、海外の案件に携わる機会は、少なかったのではないかと思います。

このような状況の中で、知財情報にかかわる方々が、グローバルな知財活動に積極的に参加できるように、私自身も含めて成長していきたいという思いで、グローバルな知財情報活動を推進してまいりました。

委員会の皆様とともに、世界各国で開かれております知財情報関係の国際会議に参加しました。ハンブルクから始まり、ボローニャ、ウイーン、ロンドン、ハーグ、マドリード等を含め、多くの会議に参加し、また、ヨーロッパ特許庁、スイス特許庁、WIPO、スペイン特許庁、もちろん日本特許庁も含め、さまざまな知財機関を訪問し、知財協の知財情報に関する研究成果を発表し、知財協としての意見を発信し、同時に、多くの方々とコミュニケーションを図ってまいりました。これらの活動を通じて、知財協の知財情報活動のレベルの高さを世界中にアピールできたと思っています。

同時に、現地を訪問された方々のみならず、訪問されなくてもその研究と一緒にされたすべての委員の皆様が、グローバルな知財情報活動に参加することができたと考えております。そして、委員会活動を卒業されて会社に帰られた方は、グローバルな視点で、今まで以上に高い成果を挙げていらっしゃるのではないかなと思っています。

ところで、知財協活動をしておりますと、会社の日常業務との両立が非常に大きな問題となります。皆さん方もご経験されていると思うのですが、会社業務と知財協業務とがバッティングすることがよくありました。思い出深いのが、ボローニャでの国際会議に参加した時のことです。ボローニャでの会議とハンブルクにある当社のヨーロッパ現地法人での会議とがバッティングしておりましたが、何とか日程調整をとり、ボローニャの会議が終わった後、少しイタリア観光でもしてハンブルクに行けばいいかなと思っていました。ところが、出発直前にボローニャとハンブルクの会議の間に、東京で2日間のミーティングが入ってしまいました。

思案を重ねた結果、自分が動けば解決できることが分かり、ボローニャの会議の後にすぐに日本行きの飛行機に乗り、翌朝に成田に到着し、シャワーを浴び、朝一番の会議に何とか滑り込みセーフとなりました。東京近辺にお住まいの方ですと、帰国時に自宅に帰ることもできたかもしれませんが、私は関西在住でしたので自宅に帰ることはできませんでした。東京での2日目の深夜の便でヨーロッパにとんぼ返りし、早朝に現地に到着し、シャワーを浴び、朝一番の会議にまたまた滑り込みセーフとなりました。

この9日間で自宅に立ち寄ることなくヨーロッパと日本の間を2往復するといった大変な海外出張となりましたが、今では笑い話のようにして皆さんにご紹介できるのも、皆さんのご理解とご支援のおかげと感謝しております。

知財協の思い出を語れば幾らでも出てきまして、語り尽くせません。こちらに表彰されている皆さんは、わたくし以上にたくさんご苦労され、また、ご貢献されております。私どもが知財活動に参加できたのも、今日、ご参加いただいているご来賓の皆様、および、会員企業の皆様のご理解と、一緒に活動させていただきました委員の皆様のご協力と、さらに、活動を支えていただきました知財協の事務局の方々の多大なるご支援の賜物であると考えております。あらためて皆様にお礼を申し上げたいと思います。皆様、どうもありがとうございました。

これをもちまして代表のご挨拶とさせていただきます。